



三笠公園

日本の源流 再発見

File 29 神奈川県横須賀市 日本の近代化を支えた港湾都市

明治に日本海軍の軍事拠点であった鎮守府は、全国4地点に設置されました。その中で最初につくられたのが神奈川県横須賀市で、他の3市と共に日本遺産「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 ～日本近代化の躍動を体感できるまち～」に認定されています。



近代化にまい進した明治の息吹が残る町

200年を超える鎖国を経て国を開いた明治政府は、日本を西欧列強に渡り合える国家とすべく、近代化を推し進めました。明治政府は国家プロジェクトとして、天然の良港のうち4港を軍港とし、水道・鉄道などのインフラを整備、艦艇の配備を進めるとともに、1884年横須賀に鎮守府を置きます。横須賀港は多数の入り江を持ち、首都東京の玄関口として現在も重要な物流拠点となっています。また、横須賀港には自衛隊の拠点と米軍基地があり、艦艇を間近に見ることができます。

京浜急行横須賀中央駅から海に向かって15分ほど歩くと、三笠公園があります。ここには1902年に竣工し、日露戦

争の日本海海戦で東郷平八郎司令長官が乗艦する旗艦として戦った戦艦「三笠」が保存されています。三笠は現存する世界最古の鋼鉄戦艦で、日本遺産の構成文化財に認定されています。また、1805年のトラファルガーの海戦でフランス・スペイン連合艦隊を破った英国の「ヴィクトリー号」、1812～1815年の米英戦争で戦った米国の「コンステーション号」とともに、世界三大記念艦としても広く知られています。三笠のデッキからは向かいの海に浮かぶ無人島「猿島」がよく見えます。三笠のすぐそばに猿島航路の発着所があり、10分ほどで猿島に渡ることができ、夏はバーベキューや海水浴を楽しむ人でにぎわいます。



へみはとぼえいもん
▲ 旧横須賀軍港逸見波止場衛門
 ヴェルニー公園内にある軍港の門にあった衛兵の詰所跡。
 建築年代は昭和4年ごろと推定されます

▼ 観音崎灯台

小高い丘の上であり、東京湾や対岸の房総半島、太平洋が見渡せる絶好のロケーション。内部を見学可能です



▲ 三軒家砲台跡
 観音崎に多く残る砲台跡のひとつ。日清戦争が終結した
 1896年に竣工しました



◀ 3トン門型スチームハンマー

蒸気(スチーム)を動力にハンマーを落下させ、鍛造しました。国の重要文化財に指定されています

JR横須賀駅のすぐそばには、四季折々に花が咲き乱れるヴェルニー公園があります。ヴェルニーとは、1865年来日し、横須賀製鉄所(後に造船所)建設に貢献したフランス人技師の名前。公園内にある彼の功績を紹介するヴェルニー記念館には、横須賀製鉄所で使っていた3トンと0.5トンのスチームハンマーが保存されています。

三浦半島の東端、観音崎にある観音崎灯台は、ヴェルニーによって建設された、日本初の洋式灯台です。残念ながら当時の灯台は倒壊し、現在建っているものは1925年に建造された3代目です。この観音崎地区には、首都と軍港を守るため多くの砲台が造られました。現在も多くの砲台跡が、周囲の木々に覆われてひっそりと残っています。

ココに注目



京浜急行汐入駅そばのパン屋「ばんブキン」の「よこすか海軍カレーパン」は、しっかりした具と福神漬けが入った珍しいカレーパン。夕方には売り切れることも多い人気商品です。

日立グループ事業所紹介

今回訪れた神奈川県には株式会社 ニッセイコム 横浜支店があります。システムインテグレーターとしてアプリケーションパッケージの開発・販売、ITインフラ構築保守サポートサービスなどIT環境の構築を一貫して支援し、より豊かで持続可能な社会の実現に貢献しています。

株式会社 ニッセイコム 横浜支店
 横浜市西区高島 1-1-2 横浜三井ビルディング
<https://www.nisseicom.co.jp/>